

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	総務部 広報・県市連絡調整担当 課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	15効果的な港のPR活動をする		連絡先	052-654-7947	
事務事業名	03印刷物・広報番組・広報紙によるPR				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	港湾関係者及び県市民の港湾及び港湾行政への理解を高めるとともに、名古屋港への関心を高めます。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	印刷物・広報番組・広報紙の作成により名古屋港情報を発信します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	印刷物の発行「PORT OF NAGOYA」要覧「ようこそなごやこうへ」「わたしたちの名古屋港」 広報番組「What's名古屋港」東海テレビ、年4回、日曜日 午前6時15分～6時30分放送 広報紙「広報なごや港」中日新聞、年4回掲載 ※平成22年度からは、広報番組の放送回数を年4回から年3回に縮小します。 ※平成21年度に、印刷物「名古屋港のあらまし」を冊子からWEB発行へ移行しました。						
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
広報番組放送回数	単位	目標	4	4	4	3	3
	回	実績	4	4	4		
印刷物「PORT OF NAGOYA」の作成部数	単位	目標	6,000	6,000	6,000	6,700	6,000
	部	実績	6,000	6,000	7,100		
事業費	千円		20,813	18,879	16,701	15,224	
	人員		2.40	2.30	2.30	2.50	
人員 正規職員	人						
	嘱託職員						
人件費相当額	千円		20,844	20,171	19,739	21,945	
事業費・人件費の合計	千円		41,657	39,050	36,440	37,169	

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
広報番組視聴率	単位	目標	2.4	2.4	2.4	3.1	3.1
	%	実績	2.3	2.3	3.1		
	達成率(%)		95.8	95.8	129.2		
印刷物「PORT OF NAGOYA」の配布部数	単位	目標	5,990	5,990	7,090	6,690	5,990
	部	実績	5,100	5,289	6,535		
	達成率(%)		85.1	88.3	92.2		
観点	課題の有無	現状の「見える化」					その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・無	・インターネットの普及により、新聞やテレビ等の相対的なニーズが低下しています。				
	目的・水準の妥当性	有・無					
	利用者などの対象者ニーズ	有・無					
有効性	成果の達成度	有・無	・専門的な内容になりやすいため、県市民向けのものに関しては、引き続きより分かりやすい表現と紹介方法を研究していく必要があります。				
	内容の妥当性	有・無					
効率性	実施主体の妥当性	有・無					
	受益者負担の適正性	有・無					
	経済性	有・無					

### 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大 維持 縮小	○	縮小 維持 拡大	目標値は満たしていますが、活用目的に応じた情報発信手法のさらなる見直しも必要のため。
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		印刷物「名古屋港のあらまし」を電子化(PDF形式)し、冊子による発行から名古屋港のホームページへの掲載に変更しました。変更初年度ということで試行錯誤を重ねての作業となりましたが、この経験を活かし、今後はより効率的に作業を進めていきます。			